最後のキスはアトリエで

第1夜









ただいま…

俺は清浦直実（きようらなおみ）
大学三年生

デリバリーにするか…

巡が新作のピザ食べたいって言ってたし

二年前の春
幼なじみで親友の巡と
同じ街の大学に入学して
今は
賃貸マンションで
ルームシェア中だ

シャンプーの香り…

生活の一部だと言えるほど
慣れ親しんだ友人と
人生の新たなステージを迎え
穏やかで充実した
日々を送れそう…

この日

！

いるか？
俺だけど…

と思ってたのに

巡

……

……

！？

みっちゃん

……？

俺の世界観を
打ち砕く光景を
目の当たりにした

天使に…
なった？

コイツは立花（たちばな）巡
これまでの人生の中で
俺が最もよく知っている人…
のはずだった

あぁ…

ごめん
びっくりさせ
たよね？

ちょっと
信じられない
話なんだけど…

落ち着いて
聞いてね？

僕 もう…

死んじゃった
みたい…？

冷静に受け止め
られるような
話じゃないだろ

一体どういう
ことなのか

ちゃんと
説明しろ！

ごめんって！
怒らないで！

一週間前
画材を買いに行く
って言ってたの
覚えてる？

…俺の誕生日に
プレゼントする絵に使う
画材が足りないって
言ってた時か？

うん

実はあの日
僕は交通事故に
遭った

…はぁ？

パ!!!パ

その時の
記憶は少し曖昧
だけど

曲がり角から車が
飛び出してきたこと
だけは覚えている

本当に
運が悪かった

意識を失う前
救急車の音を
聞いたような
気がする…

頭が冴えてきた
と思ったら

僕は何もない
真っ白なところに
いて

突然
羽が生えた
天使を名乗る
男が現れた…

初めまして
立花 巡さん

私は
天国の代理人です

不運なことに
今回あなたが遭遇した
交通事故は
運命の間違いで…

こちらの手違いにより
事故死を招いてしまい
誠に申し訳ございません

過ぎた運命を
変えることは
できませんが…
お詫びとして

特別にあなたを
天使候補として
人間界へと戻し
生き続けることを
許可しましょう

これからも
大切な人たちと
人生を楽しんで
ください

「また天国で
会いましょう」
って
言われた…

気がつくと
病院にいて

お医者さんには
軽いけど脳震盪
だからって
入院を勧め
られたけど…

その時は本当に
混乱していて
頭も真っ白で
早く家に帰りたい
一心だったから

そんなこと…

一週間前…？
そういえば
あの時確かに…

ご、ごめん

今日は早く
寝たい…

なんでずっと
黙ってたんだ？

調子が
悪いフリとか
おまえ
馬鹿かよ

だって
天使だの
生き返るだの
なんて

そんなの
真に受けたら
本当に頭が
おかしくなった
ような気がして…

今思い返しても
夢みたいだし
簡単には
受け入れられ
なかった

もしこれが
なければ
僕も…

これ…
おかしいよね

……

今まで全然
気づかなかった…
俺にずっと
隠してたのか？

あ…
そうだよ

最初
突然羽が出てきた時は
本当に驚いたけど
平常心の間は
コントロールして隠せる
ことに気づいたんだ

けどずっと隠して
いるのも背中が
むずがゆくて…
楽になりたくて
少しなら…って
解放したところを
偶然…

みっちゃん
怖くないの？